

ウイルス感染症・生命科学先端融合的共同研究拠点
2020年度 共同研究課題採択一覧

令和2年7月7日更新

応募 テーマ 番号	整理 番号	申請者(研究代表者)			研究課題名	ウイルス・再生医学研究所・共同研究者名・役割分担		
		所属機関・部局	職名	氏名		共同研究者名	職名	役割分担
①	1	熊本大学大学院生命科学研究部	准教授	安永 純一朗	免疫チェックポイント阻害薬によるSTLV-1感染動態変動の解析	三浦 智行	准教授	STLV-1感染ニホンザルへの飼育、投薬、経過観察
	2	国立感染症研究所エイズ研究センター	センター長	俣野 哲朗	サルエイズモデルにおけるCTLの腸管感染防御能に関する研究	三浦 智行	准教授	動物実験・採材(採血、接種、手術、解剖等)
						阪脇 廣美	技術職員	動物実験・採材(採血、接種、手術、解剖等)
	3	京都大学iPS細胞研究所	准教授	金子 新	アカゲザルiPS細胞由来遺伝子改変T細胞の生体内評価	三浦 智行	准教授	アカゲザルin vivo実験の実施、指導
明里 宏文						教授	アカゲザル実験全般の指導、助言	
4	京都大学霊長類研究所	教授	明里 宏文	霊長類モデルを用いたHIV根治療法の評価研究	三浦 智行	准教授	サルへの接種、採血、解剖、病理学的解析	
②	1	東京大学医科学研究所感染症国際研究センター	准教授	佐藤 佳	ヒト化マウスモデルを用いたウイルス感染細胞のマルチオミクス解析	小柳 義夫	教授	ヒト化マウスモデルの作成・使用
						三沢 尚子	教務補佐員	ヒト化マウスモデルの作成・使用
	小杉優介	大学院生	ウイルス学実験					
2	京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学	教授	高折 晃史	新規HIV-1治療法の確立	小柳 義夫	教授	初代培養HIV-1潜伏感染モデルのヒト化マウスへの応用	
③	1	国立感染症研究所ウイルス第二部	主任研究官	渡士 幸一	Bardoxolone methyl のB 型肝炎ウイルス増殖抑制分子メカニズムの解明	土方 誠	准教授	共同研究の統括とHuS-E/2-NTCP 細胞を用いたHBV 感染複製の評価
	2	同志社女子大学 薬学部 医療薬学科	特任助手	高橋 知里	新規生理活性ペプチドによる上皮バリア形成誘導機構の解明	小田 裕香子	助教	マウス組織分泌液より、TJ形成誘導因子を精製する。また、TJ形成誘導因子の細胞レベルでの解析を行う。
	3	Korea Brain Research Institute	Lab Head	小曾戸 陽一	Blastocystへの細胞移植効率を向上させる新規手法の開発	小林 妙子	助教	マウスES細胞の培養
						宮地 均	技術専門員	Blastocyst Injectionの実施
	4	大阪大学大学院医学系研究科	教授	石井優	感染モデルにおける骨髄NK細胞の動態の解明	生田宏一	教授	マウスの交配
						崔広為	助教	生体内イメージングの実施
						阿部真也	研究員	生体内イメージングの実施と解析
	5	長浜バイオ大学サイエンス学部	助教	阪上 起世	AKT活性化による神経変性疾患の理解	影山 龍一郎	教授	遺伝子改変マウスの作製
						宮地 均	技術専門員	遺伝子改変マウスの作製
	6	UCLA AIDS institute, UCLA School of Nursing	Professor	An, Dong Sung	Develop a selectable anti-HIV-1 gene therapy vector using Sendai virus based CRISPR/CAS9 delivery system	小柳 義夫	教授	CRISPR/CAS9 vector design. Advices for the in vitro assay for the CRISPR/CAS9 mediated CCR5 and HPRT genome editing and testing HIV inhibition in vivo in humanized mice
	7	大阪大学大学院生命機能研究科	助教	下條 博美	転写因子Neurog2の発現動態の多様性によって制御される細胞運命決定機構の解明	影山 龍一郎	教授	動物施設および実験設備・機器の提供
	8	大阪大学大学院医学系研究科感染症・免疫学講座ウイルス学	准教授	本田 知之	ジリス内在性ボルナウイルス様配列の機能解析	朝長 啓造	教授	内在性ボルナウイルス様配列の実験及び研究に対する助言
	9	横浜市立大学大学院生命医学研究科	准教授	禾 晃和	電子顕微鏡イメージングによる細菌型S2Pのドメイン配置の推定	秋山 芳展	教授	遺伝学的手法による細菌型S2Pの機能解析
						檜作 洋平	助教	細菌型S2Pの切断活性の生化学的評価
	10	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻	准教授	伊吹 謙太郎	サル免疫細胞を持つマウスにおけるSIV感染病態の解析	三浦 智行	准教授	サル骨髄液および末梢血の採取
	11	慶應義塾大学先端生命科学研究所	特任准教授	井上 浄	病原性ウイルスに対する高機能抗体の創出	野田 岳志	教授	抗体の精製および抗体の評価
	12	京都大学大学院生命科学研究科	特定助教	山田 真弓	レンチウイルスを用いた、神経幹細胞の分化制御メカニズムの解明	大塚俊之	准教授	遺伝子改変マウスの提供
	13	藤田医科大学総合医学研究所	教授	前田 明	環状RNAの細胞内局在機構の解明と核内低分子RNAの3'-プロセッシング因子の同定	大野 睦人	教授	共同研究全般の指導・統轄
						谷口 一郎	助教	カエル卵母細胞の顕微注入実験の指導・実施
	14	国立感染症研究所ウイルスI部	主任研究官	高松 由基	エボラウイルスのヌクレオカプシド輸送機構の解明	野田 岳志	教授	研究計画への助言・研究の実施・データの解析・解析データの出版
15	京都大学農学研究科	教授	松浦健二	シロアリのカーブ分化運命決定に関わるエピジェネティック制御機構の解明	宮沢 幸幸	准教授	ウイルスの調整および遺伝子導入の評価	
16	RIKEN Center for Integrative Medical Sciences	Genome Immunobiology RIKEN Hakubi Research Team Leader	PARRISH, Nicholas Fredric	A CRISPR-based reporter of Borna disease virus RNA-to-RNA, virus-to-host gene flow	朝長 啓造	教授	Expert of Borna disease virus reverse genetics and senior supervisor of the research project.	
17	長崎大学熱帯医学研究所	准教授	浦田 秀造	蛍光プローブを利用した高病原性ウイルスに対する創薬基盤研究	杉田 昌彦	教授	研究統括	
					水谷 龍明	助教	バイオセンサー開発補助、化合物スクリーニングの実施補助	
18	群馬大学大学院医学系研究科生体防御学	教授	神谷 亘	新興コロナウイルスに対するワクチンプラットフォームの開発とその応用	朝長 啓造	教授	ウイルスの遺伝子操作に関する助言と実験結果の解析	
19	山形県立米沢栄養大学・健康栄養学部	教授	成田 新一郎	大腸菌BepAの機能制御機構の解析	秋山 芳展	教授	BepA変異体の作製	
					大門 康志	研究員	BepA変異体のin vivo機能の解析	
20	熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター	教授	松下 修三	COVID-19に対する治療法の開発	小柳 義夫	教授	抗体分子機能の解析	
					志村 和也	助教	同上	